雪崩6人心肺停止

登山講習の高校生

栃木のスキー場、50人参加

3人不明

「那須温泉ファミリースキー場」付近で発生した雪崩事故で、行方不明者の捜索に向かう関係者

27日午前9時20分ごろ、栃木県那須町湯本のスキー場「那須温泉ファミリースキー場」付近で、雪崩が起きたと110番があった。地元消防に入った連絡によると、登山講習会に参加していた高校生らが巻き込まれ、生徒6人が心肺停止の疑いがあるという。ほかに3人が行方不明、3人が負傷との情報があり、県警が確認を急いでいる。

消防によると、講習会は県高等学校体育連盟が主催した。県立の大田原高、那須清峰高、矢板東高、真岡女子高、私立矢板中央高など7校の1～2年生ら約50人が参加し、午前7時半ごろから登山を開始したという。

雪崩は営業していないスキー場のゲレンデ上方で発生したとみられる。県高体連は「情報を収集している」とした。

各学校によると、大田原高は山岳部の男子生徒13人が参加し、安否が分かっていない。真岡女子高は1年の女子生徒4人と教員の1人の計5人、矢板東高は山岳部の生徒8人と顧問教員1人の計9人、那須清峰高はワンダーフォーゲル部の2年の男子生徒4人、矢板中央高山岳部の生徒5人と顧問教員2人の計7人が参加していたが、いずれも無事が確認された。

県内の高校関係者によると、講習会は2泊3日の日程で、生徒らは25日に同県那須塩原市内に集合。学科の講習を受けた後、スキー場へ移り、テントで宿泊。26日も春山登山の講習を受け、27日に実技を実施して昼すぎに撤収予定だった。

購読・試読のお申し込みは▶ フリーダイヤル 0120-81-8040

山形新聞

発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅篭町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2017

2017年
3月27日
〈月曜日〉

電子速報版

やましんe聞
特別号外
■やまがたニュースオンライン
yamagata-np.jp
■携帯・スマホ
yamagata-np.jp/mobile/

詳しくは山形新聞をご覧ください。